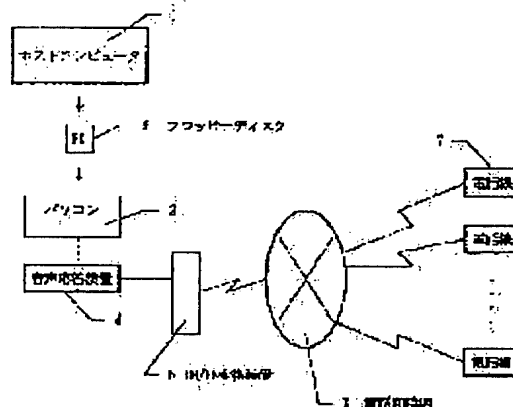


(11)Publication number : 08-097923  
(43)Date of publication of application : 12.04.1996

(21)Application number : 06-254179 (71)Applicant : DAINIPPON PRINTING CO LTD  
(22)Date of filing : 26.09.1994 (72)Inventor : IMAZAKI KOICHIRO  
SAKAI KIYOE

1. Then an examinee is specified by an examinee identification code recognized by an operation number recognition means (telephone line network 6, DP/BP converter 5) receiving and recognizing a signal corresponding to each figure of a telephone number of a telephone set 7 of an inquired person via a telephone line network 6. The result of examination of the specified examinee is retrieved automatically by an examination result retrieval means (personal computer) 3. Thus, the system copes only with an inquiry accessed by using the identification code. Furthermore, the annunciation of the result of examination is automatically and immediately made in voice to the inquired party via the telephone line network 6 by sing a voice reply means 4.



[Date of request for examination]	29.08.2001
[Date of sending the examiner's decision of rejection]	13.04.2004
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]	
[Date of final disposal for application]	
[Patent number]	

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision  
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-97923

(43) 公開日 平成8年(1996)4月12日

(51) Int.Cl. <sup>9</sup>	識別記号	片内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 M 11/00	3 0 1			
G 0 6 F 3/16	3 1 0 A	9172-5E		
H 0 4 M 1/64	F			

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平6-254179

(22) 出願日 平成6年(1994)9月26日

(71) 出願人 000002897

大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

(72) 発明者 今崎 浩一郎

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

(72) 発明者 酒井 清恵

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

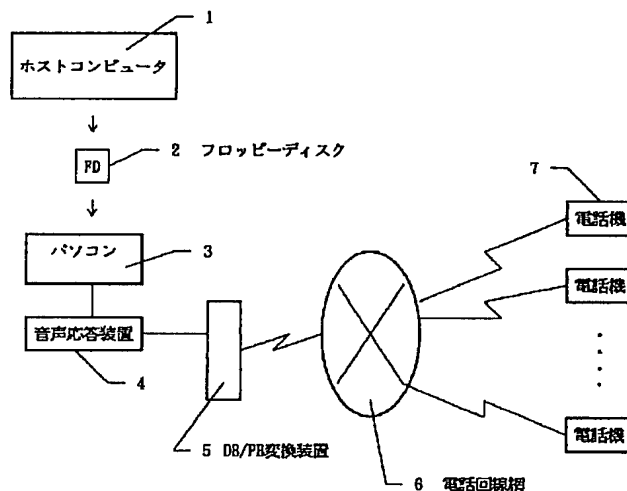
(74) 代理人 弁理士 小西 淳美

(54) 【発明の名称】 電話による受験結果発表システム

(57) 【要約】

【目的】 入学試験、各種資格試験等における受験結果を電話回線網を利用して受験者が自ら確認できるシステムを提供する。

【構成】 予め作成された受験者を特定する識別コードごとに整理された受験結果を格納する受験結果格納手段と、電話回線網を介して問い合わせ側の電話機の押しボタン操作またはダイヤル操作により発生する電話機の電話番号の各数字に対応する信号を受信し認識する操作番号認識手段と、前記操作番号認識手段により認識された受験者識別コードにより当該受験者の受験結果を検索する受験結果検索手段と、問い合わせ側に対して音声で応答するための音声応答手段とからなり、前記受験結果検索手段により検索された受験結果を、前記音声応答手段により問い合わせ側に知らせる電話による受験結果発表システム。



**【特許請求の範囲】**

**【請求項 1】** 電話回線網を介して問い合わせられた特定受験者の受験結果を自動的に即時発表するシステムであって、予め作成された受験者を特定する識別コードごとに整理された受験結果を格納する受験結果格納手段と、電話回線網を介して問い合わせ側の電話機の押しボタン操作またはダイヤル操作により発生する電話機の電話番号の各数字に対応する信号を受信し認識する操作番号認識手段と、前記操作番号認識手段により認識された受験者識別コードにより当該受験者の受験結果を検索する受験結果検索手段と、問い合わせ側に対して音声で応答するための音声応答手段と、からなり、前記受験結果検索手段により検索された受験結果を、前記音声応答手段により問い合わせ側に知らせることを特徴とする電話による受験結果発表システム。

**【請求項 2】** 上記受験結果は、受験者ごとの試験の得点データを集計し、可否基準と照合することにより得られた可否判定結果を受験者を特定する識別コードごとに整理された受験結果である請求項 1 記載の電話による受験結果発表システム。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

**【産業上の利用分野】** 本発明は、学校の入学試験、その他各種資格試験等における可否判定結果などの受験結果に関する受験者からの電話問い合わせに対して自動的に可否判定結果などの受験結果を発表する受験結果発表システムに関する。

**【0002】**

**【従来の技術】** 従来は、学校の入学試験、その他各種資格試験等における受験者の可否判定結果などの受験結果は、掲示版に一齐に掲示する方式、それぞれの受験生ごとに可否を確認して電報発送する方式、予め用意したアドレスシートにそれぞれの受験者に受取人住所、氏名等を記入してもらい、それを一括して郵便局に渡しておき、可否結果が出た時点で別途郵便局に合格者リストを渡し、郵便局側で前記アドレスシートの情報に基づき情報処理を行い、それぞれの受験者に対して合格者リストを送付する電子郵便方式、また、速達便によりそれぞれの受験者に可否結果を郵送する方式などにより可否結果を発表していた。

**【0003】**

**【発明が解決しようとする課題】** 以上のような従来の方式では、例えば、電報や速達便の場合は、発送する側（学校等）の手間がかかり、また発送までに時間が掛かり結果として速報性に欠けるという問題点がある。

**【0004】** 電子郵便の場合は、発送する側の手間も軽減でき、速報性もある程度確保できるが、コストが高いという問題点がある。

**【0005】** そこで、本発明は、学校の入学試験、その他各種資格試験等における可否判定結果などの受験結果

を電話回線網を利用して受験者が自ら確認できるシステムの提供を目的とする。

**【0006】**

**【課題を解決するための手段】** そのために、本発明は、予め作成された受験者を特定する識別コードごとに整理された受験結果を格納する受験結果格納手段と、電話回線網を介して問い合わせ側の電話機の押しボタン操作またはダイヤル操作により発生する電話機の電話番号の各数字に対応する信号を受信し認識する操作番号認識手段と、前記操作番号認識手段により認識された受験者識別コードにより当該受験者の受験結果を検索する受験結果検索手段と、問い合わせ側に対して音声で応答するための音声応答手段と、からなり、前記受験結果検索手段により検索された受験結果を、前記音声応答手段により問い合わせ側に知らせるシステムにより、上記課題を解決した。

**【0007】**

**【作用】** 予め作成された受験者を特定する識別コードごとに整理された受験結果を受験結果格納手段に整理格納しておき、電話回線網を介して問い合わせ側の電話機の押しボタン操作またはダイヤル操作により発生する電話機の電話番号の各数字に対応する信号を受信し認識する操作番号認識手段により認識された受験者識別コードにより当該受験者を特定し、特定された受験者の受験結果を受験結果検索手段により自動的に検索するシステム構成であるから、当該識別コードによりアクセスしてきた問い合わせにのみ対応する受験結果を知らせることになる。

**【0008】** また、当該受験結果のお知らせは、音声応答手段により電話回線網を介して問い合わせ側に対して音声で自動的かつ即時的に行うことができる。

**【0009】**

**【実施例】** 図面に基づいて、本発明の実施例を説明する。図 1 は、本発明の電話による受験結果発表システム全体を示す概念図、図 2 は、試験の結果から受験者の可否等の判定結果を受験者ごとに整理した可否判定結果データベースの一例を示す図、図 3 は、本発明の処理手順を示すフローチャートである。

**【0010】** 図 1 において、(1) はホストコンピュータ、(2) はフロッピーディスク、(3) はパソコン、(4) は音声応答装置、(5) はダイヤルパルス信号をプッシュホン信号に変換する装置（以下、DB/PB 変換装置と呼ぶ）、(6) は電話会社の電話回線網、(7) は電話機、である。

**【0011】** 本発明のシステムにおいては、受験者等の問い合わせ者（以下、単に受験者と言う）からの問い合わせに対して、受験者を特定するために識別コードを必要とする。この識別コードとしては受験番号をそのまま用いても本発明の目的および効果を達成できるが、より一層各受験者のプライバシーに配慮するのであれば、受

受験番号とは別に各受験者に暗証番号を決めてもらい、以後の問い合わせに対しては識別コードとして暗証番号を用いるようにしてもよい。本実施例の受験結果は、本発明の識別コードとして、受験番号とは別に暗証番号を設定するものとし、この暗証番号は少なくとも受験者の合否が決定するまでに合否判定結果データベースに登録するものとする。

【0012】試験の解答用紙としては、OMR (Optical Mark Reader: 光学式マーク読み取り装置)、OCR (Optical Character Recognition: 光学式文字認識) などの機械読み取り可能な手段に適した解答用紙を用いることにより、試験結果の集計作業の効率アップ、さらにホストコンピュータ (1) への入力ミスを防止することができる。

【0013】図3に基づき、試験の解答用紙のOMR装置による読み込み処理、ホストコンピュータ内での集計処理、パソコンと音声応答装置による受験者からの問い合わせに回答するための処理など一連の処理内容について説明する。

【0014】まず、受験者より回収した解答用紙はOMR処理 (S1) により解答データの読み取り認識処理がなされ解答データが生成される (S2)。この解答データはホストコンピュータ (1) に入力される。ホストコンピュータ (1) 内部では、予め試験結果の正解情報と配点情報からなる正解・配点データベースが用意されており (S4)、この正解・配点データベースからの情報と前記解答データを照合することにより試験の得点データが生成され、この得点データと受験番号などの受験者データが関連づけられ、一連の試験結果が得られる (S5)。

【0015】この試験結果を、例えば、予め合否基準情報からなる合否基準データを用意しておき (S6)、この合否基準データと前記試験結果を照合し、最終的に合格、不合格、また場合によっては補欠等の合否判定結果のデータベースが生成される (S7)。ホストコンピュータ (1) に生成された合否判定結果のデータベースの情報は、パソコン (3) に送られ、パソコン (3) 内にも合否判定結果データベースが生成される (S11)。最終的に、合否判定結果と受験番号等の合否判定結果データベースがパソコン (3) に格納し処理され、結果的に、図2に示されるような合否判定結果データベースが完成する。合否判定結果データベースは、図2の如く、受験者ごとに、受験番号、受験者氏名、判定結果、暗証番号を単に関連づけられた構成で作成される。なお、ホストコンピュータ (1) で生成された合否判定結果データベースをパソコンに送る手段としては、フロッピーディスク (2) を介して、パソコン (3) に渡してもよいが、LANその他の伝送手段を用いてもよい。以上が、合否判定結果データベースをパソコン側にセットするま

での一連の流れである。

【0016】パソコン (3) の処理機能としては、音声応答装置 (4) の制御ならびに識別コードに基づく受験者結果データを検索、前記検索により特定された受験者結果データのなかから、音声で応答するのに必要な音声データの対応づけなどが挙げられる。なお、ホストコンピュータ (1) にて音声応答装置 (4) の制御を直接行うようにしてもよい。

【0017】音声応答装置 (4) は、上記のパソコン (3) に接続されている一方、DP/PB変換装置 (5) に接続されており、このDP/PB変換装置 (5) 及び電話回線網 (6) を介して接続される受験者などの問い合わせ側の電話機 (7) からのプッシュホン信号に対して自動的に音声にて応答する機能がある。また、DP/PB変換装置 (5) は電話機 (7) のダイヤル式電話機のダイヤルパルス信号を識別し、さらにプッシュホン信号に変換して音声応答装置 (4) にプッシュホン信号を引き渡す機能がある。

【0018】次に、受験者からの問い合わせに対して、受験結果を受験者に知らせるまでの一連の流れについて具体例を挙げて説明する。まず、受験者が、電話機 (7) にて受験結果発表先に電話をかけると、当該受験結果発表先のDP/PB変換装置 (5) を介して音声応答装置 (4) 並びにパソコン (3) が起動し、例えば「〇〇〇大学入学試験結果をお知らせいたします。受験者の方は、暗証番号を電話機のダイヤルまたはプッシュボタンにて入力してください。」という音声ガイダンスが流れる (図3、S8)。このような案内に相当する情報は、電話がかかってくると、自動的に流れるようになる。

【0019】受験者は前記案内に従って、電話機のダイヤルまたはプッシュボタンを操作して暗証番号を入力する。例えば、暗証番号「0123」を電話機から入力すると、電話回線網 (6)、DP/PB変換装置 (5) を介して操作番号認識がなされ (図3、S10)、暗証番号が「0123」であることがパソコン (3) に伝わり、パソコン内に予め用意されている合否判定結果データベースに対して暗証番号「0123」に対応する合否判定結果データベースの検索が行われる (図3、S11)。

【0020】その結果、暗証番号「0123」に該当する合否判定結果データベースが存在する場合は当該合否判定結果データベース (本実施例の図2の受験番号「1003」、受験者氏名「タナカ ハナコ」、判定結果「合格」) に対応する応答メッセージが選択される (図3、S12)。

【0021】このようにして、特定された合否判定結果データベースは、パソコンの処理機能により、音声応答装置 (4) に送られる。音声応答装置 (4) は合否判定結果データベースに対する音声電話回線網 (6) を介

して受験者の電話機（７）に伝え、例えば合格であれば「タナカ ハナコサマ ゴウカク デス・・・」と言う音声による応答メッセージが流れ、受験者は「合格」であることを知ることができる。仮に合否判定結果データベースに暗証番号が存在しない場合は、存在しない旨の応答メッセージが受験者に伝えられる。

#### 【００２２】

【発明の効果】本発明によれば、予め作成された受験結果を電話回線網を介して、受験者等の問い合わせ者からのアクセスにより自動的に検索し応答できるので、従来の電報や速達便の場合に比べて、学校など試験を主催した側の手間がかからず、かつ速報性にも優れるという効果がある。

【００２３】また、受験者などの問い合わせ者側からの自発的な問い合わせに対応するシステムなので、問い合わせ者が何時何処の場所においても、電話さえあれば問い合わせることができ、かつその場で回答が得られるという効果がある。

【００２４】また、受験者など問い合わせ者側からの識

別コードにより特定される受験結果のみを知らせることになるので、受験者のプライバシーを保護するという効果がある。

#### 【００２５】

##### 【図面の簡単な説明】

【図１】本発明の電話による受験結果発表システム全体を示す概念図である。

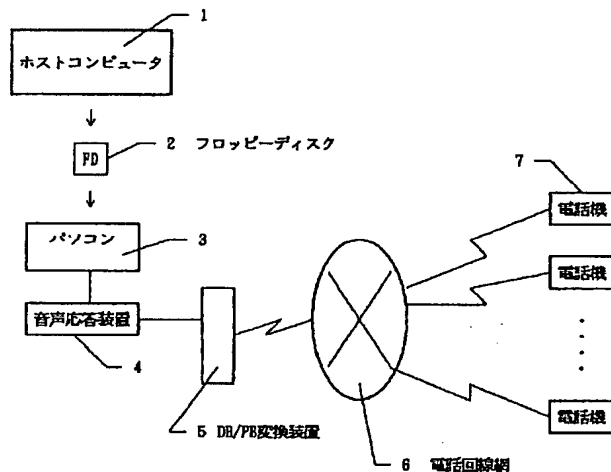
【図２】本発明のシステムに用いる合否判定結果データベースの一例を示す図である。

【図３】本発明の一連の処理手順を示すフローチャートである。

##### 【符号の説明】

- １ ホストコンピュータ
- ２ フロッピーディスク
- ３ パソコン
- ４ 音声応答装置
- ５ DP/PB変換装置
- ６ 電話回線網
- ７ 電話機

【図１】



【図２】

受験番号	受験者氏名	判定結果	暗証番号
1001	タカハシ ハジメ	合格	8922
1002	スズキ イチロウ	不合格	2525
1003	タナカ ハナコ	合格	0123
1004	ヤマダ タロウ	欠席	9646
1005	スズキ サンタ	合格	7773
.	.	.	.
.	.	.	.
.	.	.	.

【図 3】

